

「矯正治療に伴う副作用やリスクに関する説明」

- ・矯正治療には次のような事が起こることがありますので、予めご理解ください。
 - 歯みがきがしっかりできていない場合には、虫歯や歯周病になることがあります。
 - 装置に慣れるまで口内炎ができることがあります。
 - 矯正装置を装着、調整した後は数日間、歯が浮いたような痛みが伴います。
 - 根の先端が短くなる歯根吸収が起こる可能性があります。
 - 歯肉が下がって歯と歯の間に空隙が発生することがあります。
 - 一時的な知覚過敏を発症することがあります。
 - 矯正治療中、顎の関節が鳴る・痛みがある・口が開きにくくなるというような症状が出る場合には顎関節症の治療をすることがあります。
 - 上下の前歯で中心線のずれが大きい場合は、完全に一致しきれないことがあります。
 - 顎の成長が著しい症例の場合、矯正治療単独では治せないこともあります。
 - お約束通りに通院していただけない、また何らかの事情により間が空いてしまう場合は、治療期間が延長します。